

第4章 参加者アンケート

1 アンケート実施概要

本アンケートは、参加者にワークショップについて率直な意見を伺い、次年度以降のワークショップの開催・運営等に活かすことを目的に実施した。

- ・調査対象 : 「市民自治を考える市民ワークショップ」参加者
- ・配布・回収方法 : ワorkshop当日（令和4年2月26日）に配布・回収
- ・回収数 : 26名

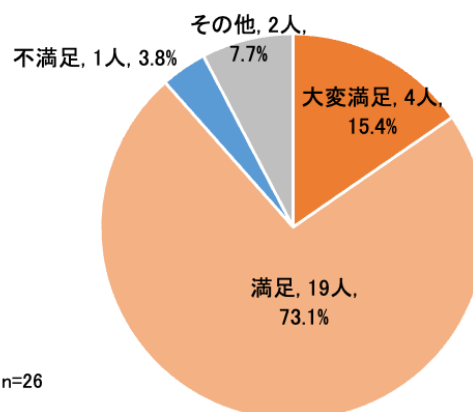
2 アンケートの質問項目と結果

【質問1】「市民自治を考える市民ワークショップ」に参加して

(1) 参加した感想（ひとつに○）

「大変満足」「満足」が回答の8割を超える結果となった。

選択肢	回	割合
大変満足	4	15.4%
満足	19	73.1%
不満足	1	3.8%
大変不満足	0	0.0%
その他	2	7.7%
無回答	0	0.0%
合計	26	100.0%



※その他意見の内容

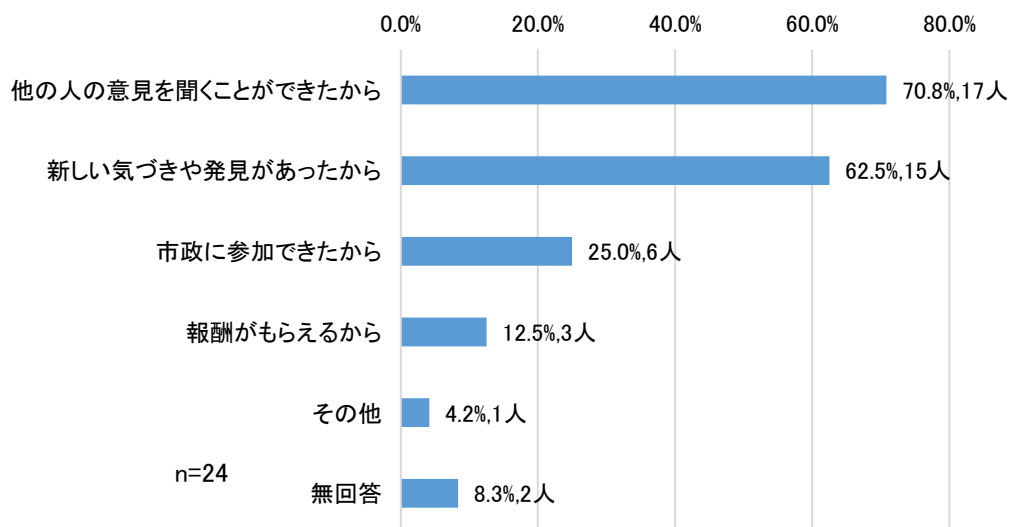
- ・市民自治をすることができたことは良かったが、満足とは言えない。

(2) (1) で「①大変満足」「②満足」と回答した理由（複数回答）

「他の人の意見を聞くことができたから」との回答が 17 名と最も多かった。次いで「新しい気づきがあったから」との回答が 15 名であった。

選択肢	回答数	割合
他の人の意見を聞くことができたから	17	70.8%
新しい気づきや発見があったから	15	62.5%
市政に参加できたから	6	25.0%
報酬がもらえるから	3	12.5%
その他	1	4.2%
無回答	2	8.3%
合計	24	

※ (1) で「①大変満足」「②満足」と回答していない方の回答を含む



※その他意見の内容

・札幌市に住んで1年くらいですので、いろいろな地域の話が聞けて良かったです。

(3) (1) で「③不満足」「④大変不満足」と回答した理由（複数回答）

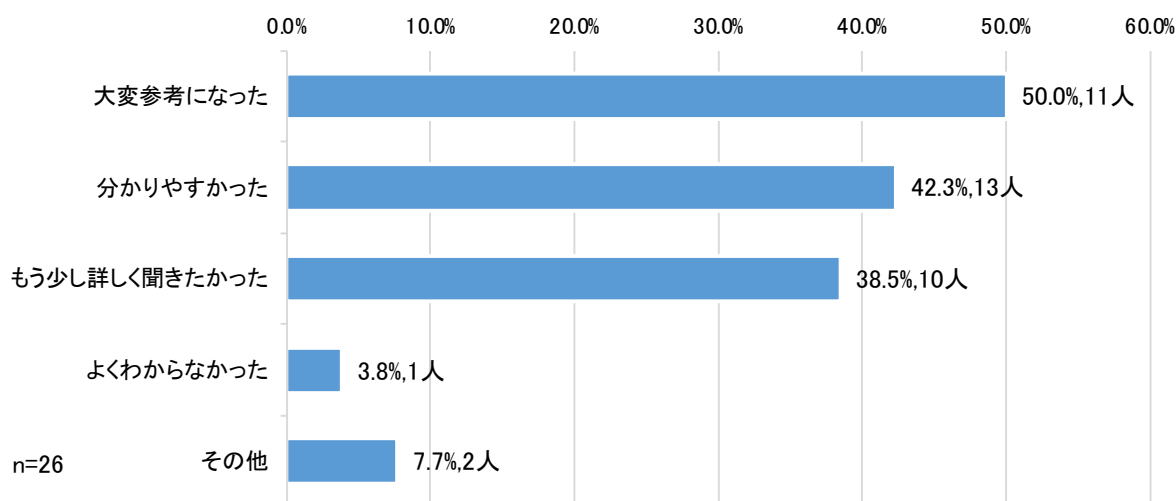
※回答者なし

【質問 2】 情報提供について

（1）市民自治に関する基礎情報や、先進事例の紹介などの情報提供について（複数回答）

「大変参考になった」が最も多く 13 名、「分かりやすかった」が次いで 11 名、「もう少し詳しく聞きたかった」が 10 名であった。

選択肢	回答数	割合
分かりやすかった	11	42.3%
大変参考になった	13	50.0%
もう少し詳しく聞きたかった	10	38.5%
よくわからなかった	1	3.8%
その他	2	7.7%
合計	26	



※その他意見の内容

- ・表面的な説明のみで、物足りなかった。
- ・静岡県牧之原市について詳しい情報が欲しかった。

(2)(1)で「よくわからなかった」と回答した理由(複数回答)

「話が聞き取りにくい」という意見があった。

選択肢	回答数	割合
話が聞き取りにくい	3	50.0%
内容が難しい	1	16.7%
説明が不十分	1	16.7%
説明の時間が短い	1	16.7%
用語が難しい	0	0.0%
その他	1	16.7%
合計	6	

※(1)で「よくわからなかった」と回答していない方の回答を含む

※その他意見の内容

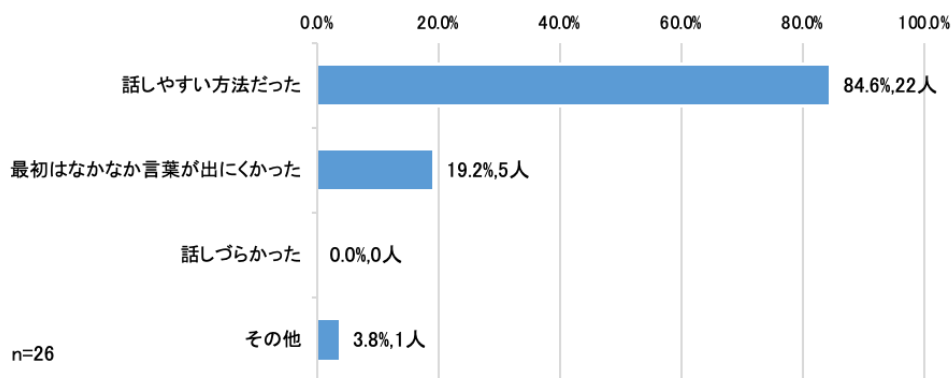
・マスクをしているので相手の声が聞こえづらかった。

【質問 3】話し合いについて

(1) 話し合いの方法について（複数回答）

「話しやすい方法だった」と回答した人は 7 割以上であった。

選択肢	回答数	割合
話しやすい方法だった	22	84.6%
最初はなかなか言葉が出にくかった	5	19.2%
話しづらかった	0	0.0%
その他	1	3.8%
合計	26	



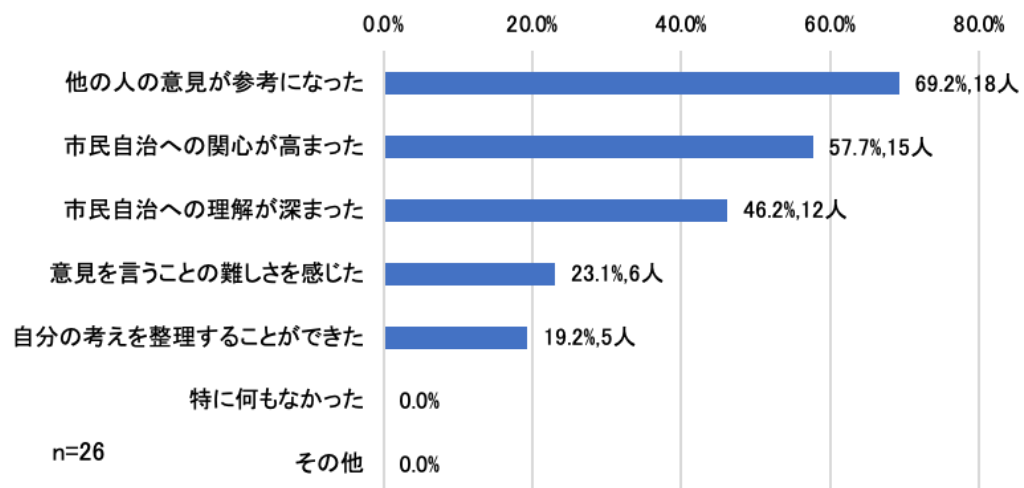
※その他意見の内容

- ・ 市民自治について完全に理解できていないままではなかなか難しい

【質問4】参加して得たものについて（複数回答）

「他の人の意見が参考になった」と回答した人は18名、「市民自治への関心が高まった」と回答した人は15名であった。

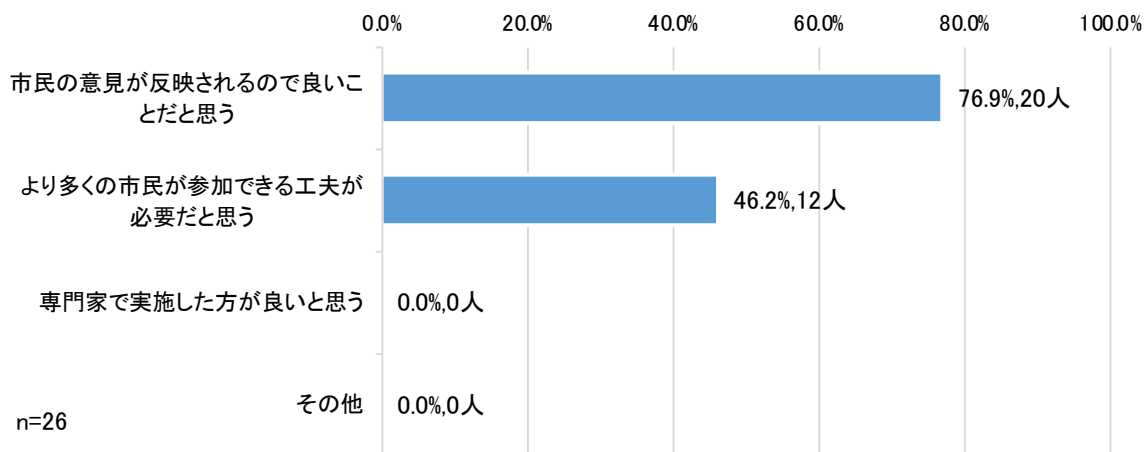
選択肢	回答数	割合
他の人の意見が参考になった	18	69.2%
市民自治への関心が高まった	15	57.7%
市民自治への理解が深まった	12	46.2%
意見を言うことの難しさを感じた	6	23.1%
自分の考えを整理することができた	5	19.2%
特に何もなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	26	



【質問5】ワークショップの実施について（複数回答）

「市民の意見が反映されるので良いことだと思う」が最も多く 20 件、次いで「より多くの市民が参加できる工夫が必要だと思う」が 12 件であった。

選択肢	回答数	割合
市民の意見が反映されるので良いことだと思う	20	76.9%
より多くの市民が参加できる工夫が必要だと思う	12	46.2%
専門家で実施した方が良いと思う	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	26	



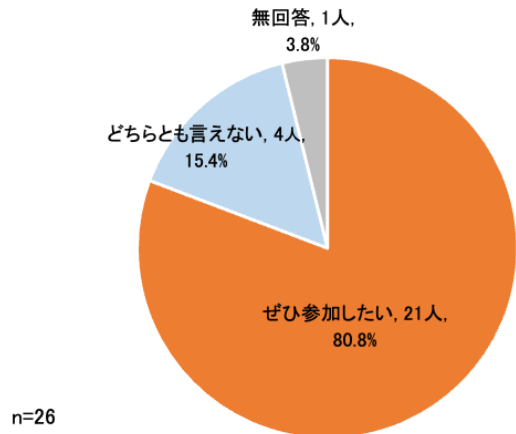
※その他意見の内容

- ・区単位、町連単位などで行ってほしい。
- ・1回きりでは話ができないかも
- ・具体的テーマに絞るべき

【質問6】今後このような取組の参加について（ひとつに○）

今後もこのような取組に「ぜひ参加したい」と約8割の参加者が回答した。

選択肢	回答数	割合
ぜひ参加したい	21	80.8%
どちらとも言えない	4	15.4%
参加したくない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0



※回答理由

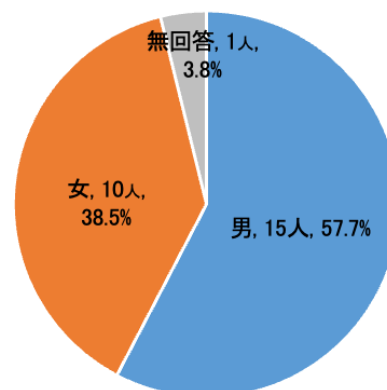
- ・市民の問題点の発信と自分の行動の仕方が分かったような気がした。
- ・自分の住む地域だけでなく、市内の情報が知れるから。
- ・他の人の意見が参考になりました。
- ・普段はこのような議論を他の人とする機会がなかったものの、自分の中で意見をまとめたり、ブレインストーミングのような形でさまざまな意見を聞くことで関心が生まれたから。
- ・勉強になるから
- ・いろいろな知識を吸収でき、ためになるため
- ・市民自治という言葉も知らずに参加しましたが、市の取り組みが判ってよかった。
- ・多くの方の意見や情報を得ることが出来るため
- ・新しいことにチャレンジできることを大切にしたいから。

【質問 7】 回答者さま自身について

(1) 性別

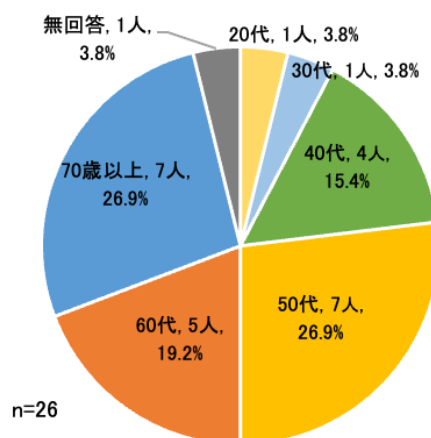
選択肢	回答数	割合
男	15	57.7%
女	10	38.5%
その他	0	0.0%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%

n=26



(2) 年代

選択肢	回答数	割合
10代	1	3.8%
20代	1	3.8%
30代	4	15.4%
40代	7	26.9%
50代	5	19.2%
60代	7	26.9%
70代	1	3.8%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%



【質問 8】 自由回答

26 名中 15 名から回答を得られた。内容は以下のとおりである。

- ・子どもからジジババ含めた市民参加の行事企画の参考にしたい。
- ・もう少しだけアットホーム的な雰囲気になればいいなと感じました。冬なので、コートをかける場所が欲しかった。せっかくの良い会合でもそういうところで気が利かないとなるのはもったいない。札幌市を PR するパンフなどがあればもっと良かったと思います。地元でも知らないことはたくさんありますので。開会と閉会だけでなく、すべて市役所職員でやってもよかったのでは？委託料がもったいない。もっと市の職員が全面に出てくる

べきと思います。最後に 70 歳以上の方も出てきているのであれば、課長職ではなく、部長職ぐらいがあいさつに出てくるべきと思いました。

- ・市民自治は行政の補助的役割ではなく、市や市議会への監視の役割もあると思う。
- ・楽しかったです。
- ・今日はありがとうございました。
- ・もっと時間があると良かった（個人的には）
- ・市民 5 人で 1 つのグループを編成してのワークショップで話し合いました。脱線した話題もファシリテータの安達さんがうまくまとめてくださり、要点をまとめてくださったので、内容が統一されて良かった。
- ・委託先の会社のファシリテーターの方で、ワークショップ開始前に目的、目標をメンバーに共有化した上で行うべき。市役所の持つ課題の本音が最初にあると、こちらも本音で言いやすいかと思います。
- ・各グループの話し合いの進行役の方がいてくれたのが良かった。その方が発表もして下さり、有難かった。
- ・行政の情報が欲しい。
- ・今回の参加者の年齢が高齢者が多いように見受けられました。若い方の意見も聞きたいと思った。IT を使った情報交換より（今の時代では当たり前かもしれませんが）顔が見えるこのようなワークショップが必要と思います。（単なる苦情にしかならないと思います）
- ・広いテーマのワークショップに思えたので、より深く議論したかったので、もっとテーマを絞ったかたちでも参加したいと思いました。
- ・活動回数の増加と専門的分課した意見を全体に移行して集約システムの組み上げ
- ・時間が短いです。
- ・時間が足りないし、内容が広すぎる。市の目的が判りづらかった。

3 参加者アンケート結果のまとめ

(1) ワークショップ全体について

ワークショップに参加した満足度については、「大変満足」と「満足」を合わせると8割以上と高かった。その理由としては、「他の人の意見を聞く事ができたから」が17名(65.4%)と多く、次いで「新しい気づきがあったから」が15名(57.7%)であった。

また、話し合いの方法については「話しやすい方法だった」という回答が22名(84.6%)いた。一方で、5名(19.2%)の方が、「最初はなかなか言葉が出にくかった」という回答をしており、「市民自治について、理解が深まっていないまま意見を出すことは難しい」という意見もあった。

(2) 情報提供について

情報提供については、「大変参考になった」が13名(50.0%)、「わかりやすかった」が11名(42.3%)と多かったが、「もう少し詳しく聞きたかった」という意見も10名(38.5%)あった。今回のテーマについての情報提供においては、より詳細な情報提供が求められていたことが伺える。

(3) ワークショップについて

ワークショップを実施することについて、「市民の意見が反映されるので良いことだと思う」という回答が20名(76.9%)と多かった。一方「より多くの市民が参加できる工夫が必要だと思う」が12名(46.2%)あり、開催方法や頻度について工夫する余地があると考えられる。

今後の参加意向は21名(80.8%)と高かった。市の取組を知ることができたり、他の参加者の意見を聞くことで自身の知見が広がったことなどが高評価であった。

また、参加して得たものについても、「他の人の意見が参考になった」が18名(69.2%)と最も高く、一つのテーマについて世代を超え議論することにより、多様な意見に触れることができた参加者が多かったものと考えられる。また、「市民自治への理解が深まった」が15名(57.7%)、「市民自治への関心が高まった」が12名(46.2%)と多かったことから、このワークショップが、市民自治を考えるきっかけにつながったことが伺える。